

■ 全体講評

午後 I 記述式問題では、問 4 以外の得点率は高い結果が出ており、学習が予定どおり進んでいる受講生が多いと判断します。問 4 は 30%ほどの選択率であり、予想以上に多くの受講生が選択しました。ただし、問 4 は組込みシステムの技術者向けの問題であるため、情報システムを担当する受講生が、解答はできても、満点を得る解答を導くことは難しかったという状況でした。情報システムを担当する技術者は、この経験を基に、組込みシステムの問題も学習の内容に入れるかを判断して対策を進めるとよいでしょう。

採点して気付いた点を次に説明します。なお、具体的には各問題の設問の解説で説明していますから、ここでは概要にとどめておきます。

(1) 問題文に書かれている内容から得られる結論を解答に盛り込む

問題文の情報を解答に写すだけでは得点できません。その情報から得られる結論も含めるようにしましょう。

(2) 「完全性の観点から」などの設問の条件を満足する解答を導く

設問の条件を満足しない解答は部分点もないと考えてください。

(3) 問題を適切に選択する

点数記入欄に○を記入している受講生がいます。選択漏れ、選択方法に誤りがないように、しっかりと問題冊子をチェックしましょう。

では、次に問題ごとにポイントを解説しながら、採点基準についても説明します。

■ 問題ごとの講評と採点基準

問1 施設予約システムの設計

【解説】 システムアーキテクト試験では、計算問題も出題されます。主に、ネットワークにおける伝送時間の計算、ワークフローにおける所要日数の計算、待ち行列の計算などです。午前 I・II でも計算問題は出題されますから、この問題の計算問題についても解けるようにしておきましょう。

〔設問 1〕(1) 抽選データを抽選作業ファイルからすべて削除する旨が書いてある解答を正解としました。

(2) 空欄 d において「抽選結果」という解答が多かったです。空欄 d の直前で抽選作業ファイル 2 の抽選データを削除する旨の記述があるので、抽選作業ファイル 2 のデータ件数である「m」の値を更新するという解答が妥当であると判断し、「抽選結果」については不正解としました。

(3) 問題文の該当する下線部分の前の行で、当選データをもとに、抽選ファイルを更新していることを確認してください。したがって、この下線部分では、抽選結果が“未抽選”の場合に限って更新する必要があることがポイントです。

〔設問 2〕厳しいですが、追加先の処理内容の番号が間違っている解答は、追加する処理内容を無条件に不正解としました。

〔設問 3〕(1) 小数第 2 位が“0”であっても、それを省略しないでください。省略した場合は、厳しいですが不正解としました。

また、設問文で明示的に指定されていない場合を除いて、利用率については、単位を“%”にして答えないでください。

問2 請求管理システムの設計

【解説】 システムアーキテクト試験では、標準化されたドキュメントを書けるかどうかをチェックされます。したがって、ある属性の値を“”で囲むかどうかを、問題文で確認して、他の表記と同じようにして解答を作成する必要があります。設問 2 の(1)と(2)において、厳しいですが、“”の有無が適切ではない解答については半分の部分点としました。

〔設問 1〕(1) 前回の締日を考慮した解答がありました。1 か月以上前のデータが入っていても合算の対象になることを、問題文の〔新請求書作成処理の概要〕の(5)の記述において確認してください。

(2) 25 日や 26 日などの具体的な日付を含まない解答については、厳しいですが大幅減点としました。

(3) 「請求対象年月を請求書作成日付に置き換える」という解答については、請求書作成日付は、顧客締日と同じ値であるとも考えられるので、正解としました。

〔設問 2〕(1) 問題文の図 2 の注釈を確認してください。「入金済」ではなく「入金済」です。厳しいですが、半分の部分点としました。

(2) 同様に“”のない解答については、半分の部分点としました。

(3) 本試験において“お決まり”の設問です。したがって、正答率が高い設問となりました。

〔設問3〕(1) 正解例に示したように、「1対1以外」という表現でなくとも、「1対多」と「多対多」の両方を指摘した解答については正解としました。

(2) 正答率の高い設問でした。

〔設問4〕最後の設問は、この設問のように難易度が低いケースが多いです。時間管理して最後の設問まで目を通すようにしましょう。

問3 ソフトウェア開発の品質管理、進捗管理

【解説】 この問題では、問題に書かれている状況を、そのまま解答するのではなく、状況から得られる結論を解答に盛り込むようにしましょう。たとえば、問題文の数値を読んで得られる「テストケース率が低い」という解答ではなく、「テストケースが少ないためにバグが摘出されずに残留している」と、結論を含めて解答できるようにしておきましょう。結論のない解答については、半分の部分点としています。

〔設問1〕受注出荷については、原因を「現場責任者が出席したため」で解答を終わらせないでください。現場責任者が出席したことで得られる結果、すなわち、「レビューに時間を要した」ことも解答に盛り込むようにしましょう。

〔設問2〕(2)「プログラムの割当本数も平均化すべきである」という解答がありました。解説にあるとおり、問題では均一の生産性でプログラムを割り当てているので、各メンバーの生産性を考慮する旨の解答を妥当とし、これのみを正解としました。

〔設問3〕受注仕入の問題点において、「テストケース率が標準指標値から外れている」という解答は、内容が不十分です。しっかりと「テストケースが少ない」ことを指摘するようにしましょう。

問4 回転寿司システムの設計

【別解】

〔設問1〕(2) 読み取りやすく、皿の位置を変えないと精算できない。

〔設問4〕空欄d「回転数」または「皿別鮮度情報」

【解説】

組込みシステムの問題ですが、選択率が50%ほどと固く、予想以上に選択した方が多いという状況でした。この問題では、設問に明示されている「完全性の観点から」など、設問の条件を満足する解答を導くこ

とに留意するとよいでしょう。

〔設問1〕(1) 設問の「精算の完全性の観点から」という条件を満たす解答を導いてください。種類と料金の関連付けについては2次元バーコード方式でも可能なので、ICタグ方式の利点ではありません。したがって、「種類と料金の関連付け」についての解答は不正解としました。精算漏れについても、空欄aの直前にすでに挙げられているので不正解としました。

〔設問2〕(1) 記述式問題では、段落の最後の文章や、1段落1文章は解答を導く重要な記述である可能性が高いです。この問題では、ハンディターミナル方式の説明の最後、なおかつ、1段落1文章の「会計情報は無線LANを経由してコントローラに送信する」という記述に注目して解答を導けるようにしましょう。厳しいですが、解答解説の解答のみを正解としました。

(2) 設問の「A社の観点から」という条件を満足する解答を導いてください。「会計情報を目で確認できる」という記述だけでは、この条件を満足できません。「効率的な会計」などを解答に盛り込みましょう。

なお、「カードの再利用」を指摘した解答についてはICカードも再利用はできるので不正解としました。

〔設問3〕問題文の表の情報をしっかりと解答を導く際に活用することがポイントになっています。

〔設問4〕〔鮮度管理と単品管理のためのシステム概要〕の(2)の記述から、ICタグ付き端末では「回転数」や「皿別鮮度情報」を持っていることがわかります。したがって、「回転数」と「皿別鮮度情報」を別解としました。

■ 公開模試に向けて

午前I・II多肢選択式問題対策では、テキスト学習を併用しながら、過去問題を中心に勉強し、情報技術に関する最新動向に関する専門知識を専門雑誌などから吸収するようにしましょう。

午後I記述式問題対策では、システムアーキテクト試験に該当するアプリケーションエンジニア試験の過去問題に加えて、ソフトウェア開発技術者試験や応用情報技術者試験の午後Iの過去問題についても、演習時間を決めて問題を解くとよいでしょう。

午後II論述式問題対策では、工夫や能力のアピール方法をテキストなどで確認して、論文における実務経験の活用方法を身に付けるとよいでしょう。なお、解答用紙に、設問ア、設問イと設問ウをどのように論述するかについて、問題冊子に明確な指示があります。それを確認してから論述するようにしましょう。

以上